社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和01年12月25日

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全重点計画													
計画の期間	平成３０年度　～　平成３０年度　(1年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	御殿場市													
計画の目標	御殿場処理区における未普及地域の早期解消を図るため、下水道管渠の整備を進める。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	100	A	100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H30
1	御殿場処理区における下水道処理人口を３１，８６９人（Ｈ２９末）から３２，２００人（Ｈ３０末）に増加			
	下水道処理人口を算定する	31869人	人	32200人
2	御殿場処理区内事業計画区域の下水道整備率を９５．０％（Ｈ２９末）から９６．０％（Ｈ３０末）に増加			
	下水道整備済面積を算定し、事業計画面積に占める割合を算出する （整備率）＝（下水道整備済面積）／（事業計画面積６４８ｈａ）	95%	%	96%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

案件番号：　0000142161

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H30	H31	R02	R03	R04	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	管渠（汚水）	新設	御殿場処理区管渠整備（未普及解消）	Φ２００　Ｌ＝１，６００ｍ	御殿場市	■					100		－
											小計						100		
											合計						100		

案件番号：　0000142161

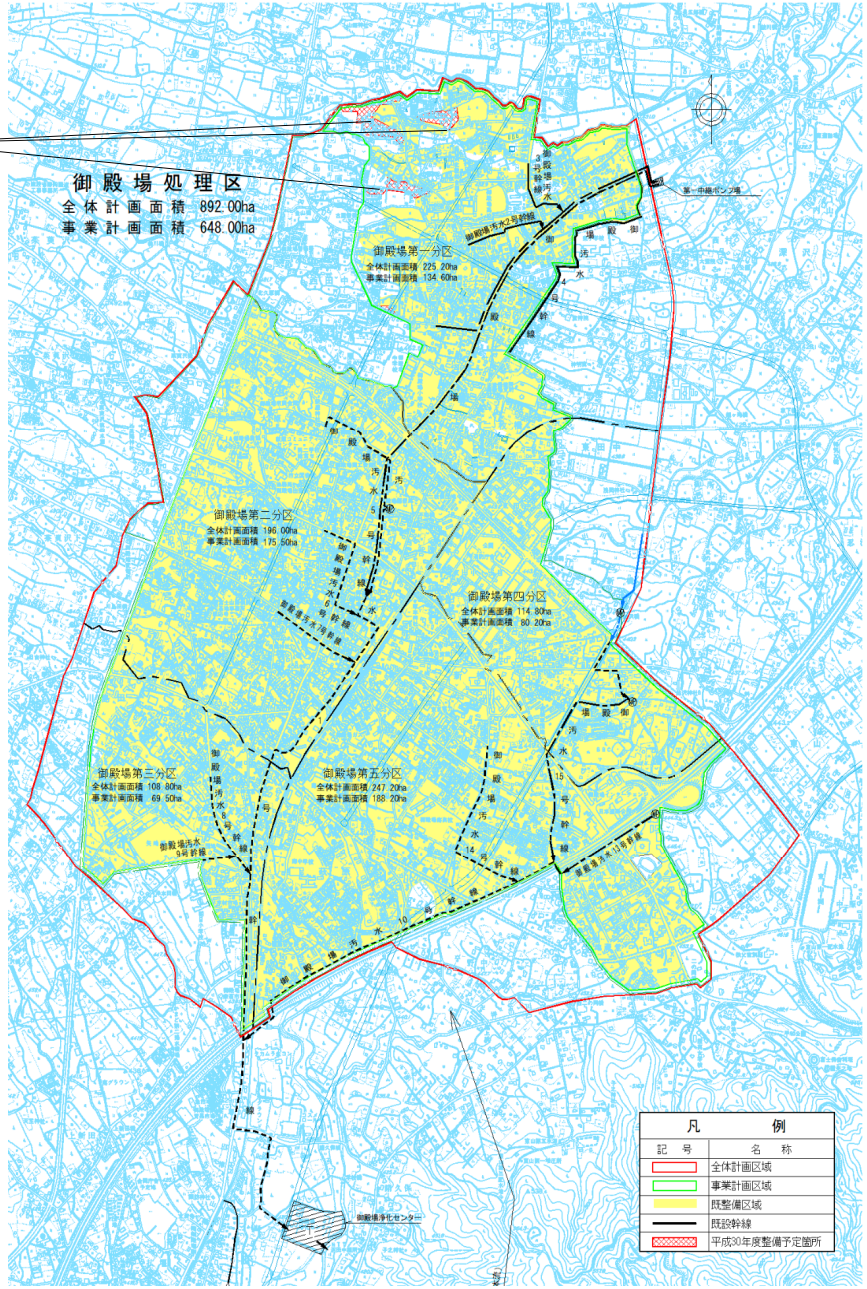
事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 御殿場市で評価を実施	事後評価の実施時期 令和元年12月 公表の方法 御殿場市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道管渠の整備を行い、御殿場処理区における未普及地域の早期解消を図った。 下水道処理人口　：　H30当初　31,869人　→　H30末　32,589人　720増加 下水道整備面積　：　H30当初　615.7ha　→　H30末　620.4ha　4.7ha増加
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	地域住民の生活環境の改善と河川等の水質を一層改善させた。
○特記事項（今後の方針等）	
今後も計画的かつ効率的に下水道管渠の整備を行い、10年概成を視野に御殿場処理区における未普及地域の早期解消を図る。	

案件番号：0000142161

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	御殿場処理区における下水道処理人口		
	最　終 目標値	32200人	比較的人口が密集している地域において計画的に事業を進めることで目標値を達成した。
	最　終 実績値	32589人	
2	御殿場処理区内事業計画区域における下水道整備率		
	最　終 目標値	96%	建設資材等の価格の高騰に伴う工事費の増加及び地下埋設物等の影響により一部計画に遅れが生じたため。
	最　終 実績値	96%	

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全重点計画		
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）	交付対象	御殿場市

１－Ａ－１　御殿場処理区管渠整備
（未普及解消）



社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和01年12月25日

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全													
計画の期間	平成２７年度　～　平成３０年度　(4年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	御殿場市													
計画の目標	下水道幹線管渠等の整備を中心に行い、御殿場処理区における未普及地域の早期解消を図る。 また、御殿場浄化センターの再構築計画に基づく汚泥処理施設の増設や長寿命化設計・更新を行い、安定した施設の維持管理を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,151	A	1,151	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H28	H30
1	御殿場処理区における下水道処理人口普及率を３４．５％（Ｈ２６）から３５．６％（Ｈ２９）に増加。			
	下水道処理人口を算定し、行政区域内人口に占める割合を算出する。 （下水道処理人口普及率）＝（下水道処理人口）／（行政区域内人口）	34%	35%	36%
2	御殿場処理区内事業計画区域の下水道面整備率を９０．５％（Ｈ２６）から９６．０％（Ｈ２９）に増加。			
	下水道整備済面積を算定し、事業計画面積に占める割合を算出する。 （整備率）＝（下水道整備済面積）／（事業認可面積６４８ｈａ）	90%	94%	95%
3	増設が必要となっている汚泥処理施設をＨ２８までに完成する。			
	御殿場浄化センターの汚泥処理施設を増設する。 （進捗率）＝（実施）／（計画）	9%	100%	100%
4	既存の下水道施設の耐震診断を実施し、それにもとづきＨ２９までに下水道総合地震対策計画を策定する。			
	既存の下水道施設の耐震診断を実施し、下水道総合地震対策計画を策定する。 （進捗率）＝（実施）／（計画）	0%	21%	100%
5	長寿命化計画をもとに、各設備の設計・長寿命化を行なう。Ｈ３０までに汚泥脱水設備のうち、貯留ホッパを完了、管理棟の建築・電気設備工事に着手する。			
	汚泥脱水設備・管理棟を長寿命化する。（耐震改修と同時施工） （進捗率）＝（実施）／（計画）	0%	19%	38%
6	Ｈ２８までに既存の下水道管渠施設のストックマネジメント計画を策定する。また、Ｈ３０までに御殿場浄化センター及び第一中継ポンプ場のストックマネジメント計画基本方針を策定する。			
	既存の下水道施設のストックマネジメント計画を策定する（処理場、ポンプ場は基本方針策定）。 （進捗率）＝（策定済施設数）／（対象施設数：管渠・処理場・ポンプ場）	0%	33%	100%

案件番号：　0000144746

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27	H28	H30
7	Ｈ２８までに、公共下水道事業全体計画の見直しを行い、それにもとづき、Ｈ２９までに事業管理計画の見直しを行なう。			
	公共下水道事業全体計画及び事業管理計画の見直しを行なう。 （進捗率）＝（実施）／（計画）	0%	44%	100%
8	Ｈ２９までに、汚水処理施設の１０年程度での概成を目指した汚水処理施設整備構想（アクションプラン）を策定する。			
	汚水処理施設の１０年程度での概成を目指した汚水処理施設整備構想（アクションプラン）を策定する。 （進捗率）＝（実施）／（計画）	0%	40%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	管渠（汚水）	新設	御殿場処理区管渠整備（未普及解消）	Φ２００　Ｌ＝７，０００ｍ	御殿場市	■	■	■			610		―
	A07-002	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	新設	御殿場浄化センター汚泥処理施設（水質保全）	土木・建築・電気設備・機械設備　一式	御殿場市	■	■				363		―
	A07-003	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	―	改築	下水道総合地震対策	耐震診断、計画策定、設計	御殿場市		■	■	■		73		策定済
	A07-004	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	終末処理場	改築	御殿場浄化センター長寿命化（長寿命化）	設計、建築・電気設備・機械設備　一式	御殿場市		■	■			41		策定済
	A07-005	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	―	改築	既存施設の維持管理の適正化	ストックマネジメント計画策定	御殿場市		■	■	■		46		策定済
	A07-006	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	―	新設	効率的な事業実施のための見直し	全体計画及び事業管理計画の見直し	御殿場市		■				14		―
	A07-007	下水道	一般	御殿場市	直接	御殿場市	―	新設	効率的汚水処理整備計画の策定	汚水処理施設整備構想（アクションプラン）策定	御殿場市		■	■			4		未策定

案件番号：　0000144746

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H27	H28	H29	H30	H31	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						1,151		
											合計						1,151		

案件番号： 0000144746

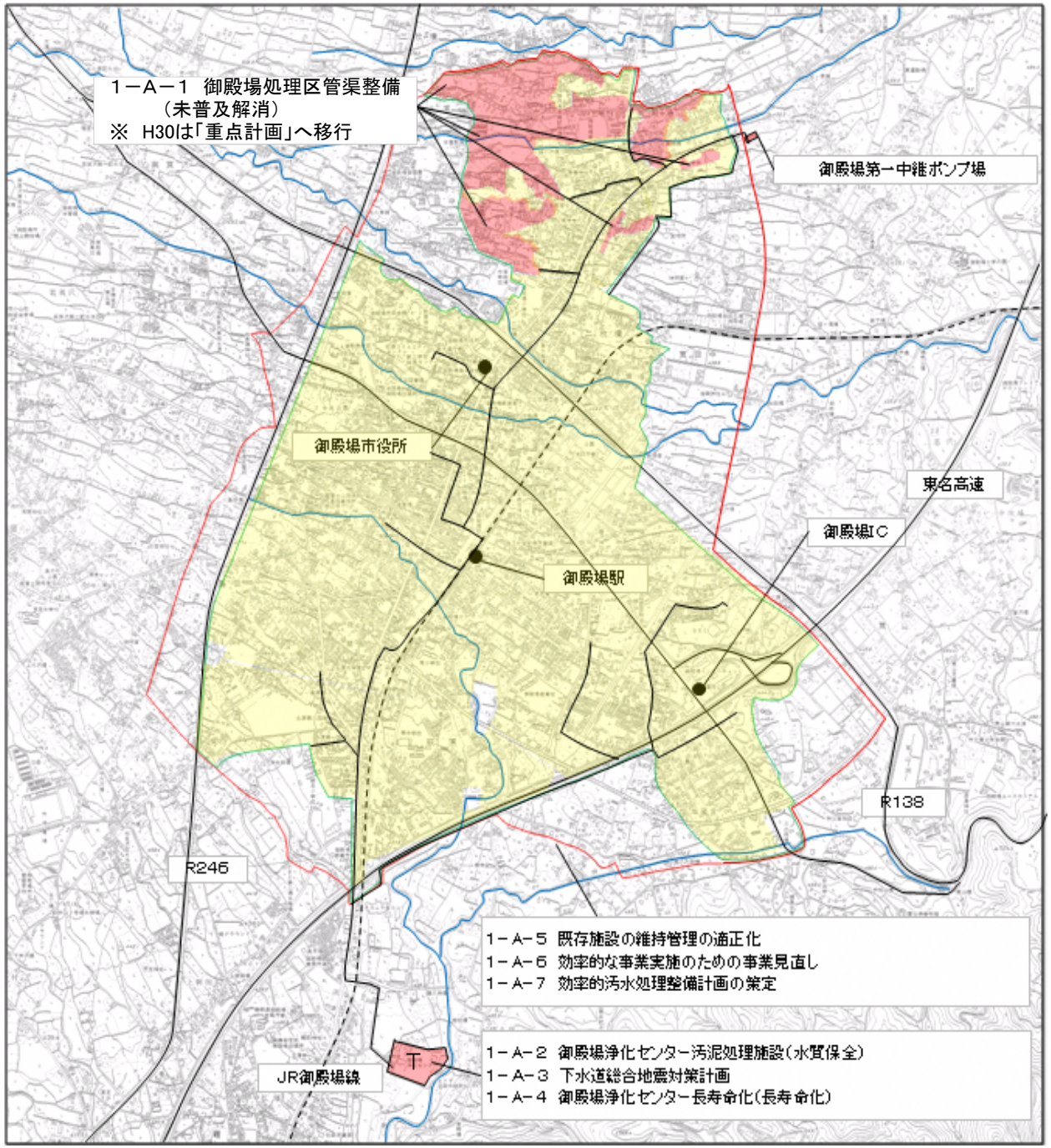
事　後　評　価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 御殿場市で評価を実施	事後評価の実施時期 令和元年１２月 公表の方法 御殿場市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・御殿場処理区における下水道整備を進めH29までの目標値を達成し、H30は重点計画と位置付けた。 ・事業管理計画の見直し及びアクションプランの策定業務の実施率が100%となり、今後の下水道整備に関する見通しを付けることができた。 ・長寿命化計画に基づく工事を行うとともに、整備計画に基づき地震対策計画、ストックマネジメント計画との整理を行ったことで、今後の改築計画に関する見通しを付けることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
御殿場浄化センターについては施設の耐震化や機器更新等を行い、管渠施設についてはストックマネジメント計画に基づいて点検・調査を進めることで、事故の未然防止を図る。	

案件番号： 0000144746

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	御殿場処理区における下水道処理人口普及率		
	最　終 目標値	36%	目標値を達成
	最　終 実績値	36%	
2	御殿場処理区事業区域内の下水道整備率		
	最　終 目標値	95%	目標値を達成
	最　終 実績値	95%	
3	御殿場浄化センター汚泥処理施設増設事業の実施率		
	最　終 目標値	100%	目標値を達成
	最　終 実績値	100%	
4	下水道総合地震対策計画策定業務の実施率		
	最　終 目標値	100%	目標値を達成
	最　終 実績値	100%	
5	長寿命化計画に基づく設備改築事業等の実施率（事業費）		
	最　終 目標値	38%	汚泥脱水設備貯留ホッパの更新工事は完了。管理棟の設備更新工事は、耐震化工事及びストックマネジメント計画に基づく工事と一体的に実施した方が効率的であると判断されたため、工事実施年度の見直しを行った。
	最　終 実績値	35%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	ストックマネジメント計画策定業務の実施率		
	最　終 目標値	100%	目標値を達成
	最　終 実績値	100%	
7	公共下水道事業全体計画及び事業管理計画見直しの実施率		
	最　終 目標値	100%	目標値を達成
	最　終 実績値	100%	
8	汚水処理施設整備構想（アクションプラン）策定業務の実施率		
	最　終 目標値	100%	目標値を達成
	最　終 実績値	100%	

計画の名称	富士の麓の高原都市にふさわしい水環境保全		
計画の期間	平成27年度～平成30年度（4年間）	交付対象	御殿場市



凡　　例		
	事業計画区域	６４８ｈａ
	全　体　計　画　区　域	８９２ｈａ
	既　整　備　区　域	
	既　設　幹　線	
	H27～30整備予定箇所	１－Ａ－１